

第 57 回全国高専体育大会陸上競技 兼 第 57 回日本高等専門学校陸上競技対校選手権大会  
新型コロナウイルス感染防止対策について

本大会は、(公財)日本陸上競技連盟の提示する最新の【陸上競技活動再開のガイダンス】[1]を最優先に、(一社)全国高等専門学校連合会が提示する【全国高等専門学校体育大会における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関するガイドライン】[2]に基づき大会を開催する。

[1] <https://www.jaaf.or.jp/news/article/13857/>

[2] <https://www.kosen-all.or.jp/guide/covd-19.html>

本大会開催に際して提示するガイドライン

● 大会の開催および受入の可否について

愛媛県および松山市に「緊急事態宣言」が発出されている場合でも、要請内容にイベント開催の中止もしくは自粛が含まれていない場合には、関係団体と協議の上、開催を検討する。一方、参加校の自治体において「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」等の対象となっている場合の派遣の可否の判断は、各校校長に委ねるものとする。

● 来場者の制限について

本大会は、愛媛県における感染症警戒レベルに応じて以下の通り観客の有無を判断する。

1. 対策要請なし～感染警戒期(特別警戒期間)

大会会場への入場が認められるものは以下の通りとする：

- ① 出場証明書に記載された登録者
- ② 大会役員、競技役員、審判補助員、専門部事務局、引率教員
- ③ 許可された報道関係者・協賛関係者
- ④ 各高専の校長、副校長
- ⑤ 申請により開催校校長が許可した者
- ⑥ 各高専学生保護者

2. 感染対策期

愛媛県の要請に応じ、無観客で開催する。このため、会場への来場は上記①-⑤までのものに制限する。

● 体調管理チェックシートについて

体調管理シート様式は3種類あり、各校の責任の元、健康チェックシート(様式1)を用いて健康状態の把握を行い、来場する日ごとに各校の状況をまとめた様式2の提出を行

う。学校関係者および報道関係者など個別に来場する参加者は様式3を来場する日ごとに提出する。

● 大会参加にあたっての留意点

1. 大会参加前

- (ア)大会参加日の2週間前から毎日健康状態をチェックシート(様式1)に記載すること。
- (イ)大会参加前2週間に感染者または濃厚接触者となった場合には、大会事務局に直ちに報告し、指示に従うこと。
- (ウ)体調不良等になった場合の医療機関への移動や輸送は参加校の責任で行うこと。

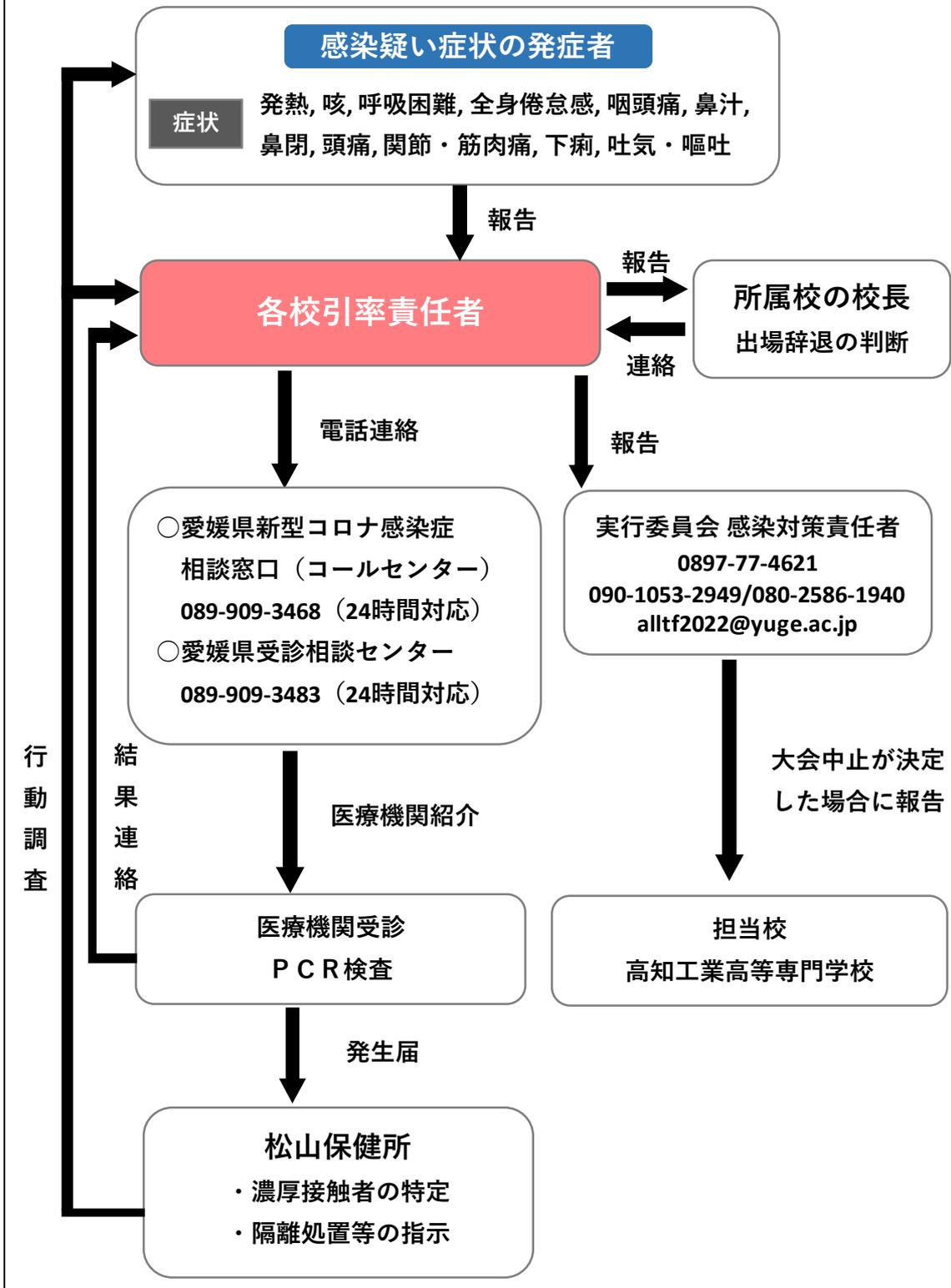
2. 大会期間中

- (ア)出発前に様式1の調査項目を確認し、体調不良者は会場へ来場しないこと。
- (イ)会場受付における体温チェック等で体調不良者を確認した場合は、会場への入場を許可しないため、参加校の責任において速やかに医療機関の受診等行うこと。受診の際は、感染拡大防止を図るため公共交通機関は使用しない。また、次頁のフローに沿った対応をすること。
- (ウ)感染者等になった場合は、直ちに大会事務局に報告すること。

3. 大会参加終了後

- (ア)大会参加終了日から2週間の期間において、感染者となった場合は直ちに大会事務局に報告すること。
- (イ)健康チェックシート様式1の原本は、個人情報の取扱いに注意しながら各自で1ヶ月保存すること。

# 大会期間中に感染疑いが出た場合の対応



- 会場入場時の対応

1. 選手・監督

- ① 大会参加初日

引率責任者が、引率する学生および教職員の健康チェックシート様式1を確認し、健康チェックシート様式2を受付で提出すること。なお、健康チェックシート様式1は提出を求めないが、各自または各校の責任のもと大会終了後1ヶ月保管し、求めがあれば提出すること。

- ② 大会参加2日目以降

引率責任者は、引率する学生および教職員の健康チェックシート様式1を確認し、来場日ごとに健康チェックシート様式2を受付で提出すること。

2. 保護者・報道関係者等個別の参加者

健康チェックシート様式1に大会参加2週間前より健康状態を記載し、来場日ごとに様式3を記載して受付へ提出すること。

- 入場管理カードについて

本大会では、参加許可証として、専用の紙製カードを配布する。受付時に許可された人数分を配布した後の再配布は行わないため、紛失に注意すること。また、来場日ごとの入場許可をシール付によって行う。

- その他留意事項

1. 3密の防止

1. 待機場所設営可能エリア内での設営場所の指定は行わないが、それぞれチーム間の距離をとる
  2. 大会後の万が一に備え、隣のチームの把握をしておく
  3. 各チームの待機場所内での密集や密接にも注意する
  4. テントを使用する際は、密閉を避け、風通しをよくする
  5. 観客席では座席を1人分空けて座る
  6. 集団での応援の際も、距離を空けて並ぶ ※応援は声援以外の方法で行う

2. ウォーミングアップの個人実施

1. リレー練習を除き、極力分散して実施する

3. 競技中およびウォーミングアップ中を除いた、マスクの常時着用

1. フィールド種目の試技間の待機中なども極力着用する
  2. 食事や飲水等、一時的にマスクを外さざるを得ない場合も、飛沫等に配慮する

4. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施

1. 招集前・競技後の実施の励行
  2. 各所に消毒液は準備するが、限りもあるため個人での消毒液の携帯の推奨

5. 滑り止め（炭マグ）の個人準備

1. 投てき種目での滑り止めの供用を避けるため、使用者は各自で準備する